輝きと優しさに出会えるまち

若狭町まちづくりプラン

若狭町総合計画後期計画

wakasa 若狭町

みんなでつくるまちづくり

若狭町が誕生して、7年目を迎えようとしています。

これまで、平成18年に策定した若狭町総合計画に基づき、住民同士の「融和」を図りながら、今日の若狭町を築いてまいりました。

しかし、日本経済は、世界同時不況などの影響により低迷が続き、また、政治においては政権が交代し、国の政策転換がなされるとともに、地方への権限委譲が加速化するなど、社会の動向が一変してまいりました。

また、東日本大震災や福島第１原子力発電所の事故などにより、安全安心について総合的な対策が求められています。

さらに、住民のニーズは、子どもや高齢者への支援や雇用の充実など生活中心の内容に変化し、多様化が進んでいます。

私は、このような時代だからこそ、「みんなで創る、みんなのまち」を目指し、多くの皆様との絆を深め、住民と行政が役割を分担し、協働によるまちづくりを進める必要があると考えております。

若狭町まちづくりプランは、新しいまちづくりに向けての課題を明確にするとともに、住民意識調査の結果や、各集落において策定いただいた「集落計画」を反映するなど、住民や地域の皆様のご意見を尊重して策定いたしました。

そのため、まちづくりプランは、課題や現状を見据えた現実性のある計画、そして、事業を効果的に実施するための計画となっています。

特に、まちづくりプランの柱を「次世代の定住促進」と「住民自治の推進」としています。

それは、減少する人口問題にどう立ち向かうか、そして、どのようにして定住する若者に活き活きと活躍してもらうかを念頭に、地域住民が絆を深めて、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という意識が高まるようなまちづくりを推進してまいりたいと考えているからです。

今後は、このまちづくりプランをもとに、若狭町の持つ宝を活かして、みんなで創り上げ、育んでいく喜びが感じられるまちを目指し、全力を挙げて取り組んでまいりますので、住民の皆様をはじめ、国、県、その他関係者の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

おわりに、まちづくりプランの策定にあたり、ご尽力を賜りましたまちづくり審議会委員、学識経験者や各種団体の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご協力いただきました多くの方々に心より感謝とお礼を申し上げます。

平成23年3月

若狭町長　森　下　　裕